

恵山の火山活動解説資料（令和7年10月）

札幌管区气象台
地域火山監視・警報センター

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○活動概況

・噴気など表面現象の状況（図1、図2-①～②、図3～6）

監視カメラによる観測では、Y火口の噴気の高さは火口縁上100m以下で経過しており、噴気活動は低調な状態です。

15日に実施した現地調査（目視及び赤外熱映像装置による観測）では、前回の観測（2023年10月）と比べて、X火口及びY火口、Z噴気地帯の地熱域の状況に特段の変化は認められませんでした。

・地震及び微動の発生状況（図2-③～④）

火山性地震は少なく、地震活動は低調な状態です。

火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図2-⑤）

GNSS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められません。



図1 恵山 南西側から見た山頂部の状況（高岱監視カメラによる）

この火山活動解説資料は、気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、北海道大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』及び『数値地図 25000（行政界・海岸線）』及び『電子地形図（タイル）』を使用しています。

次回の火山活動解説資料（令和7年11月分）は令和7年12月8日に発表する予定です。

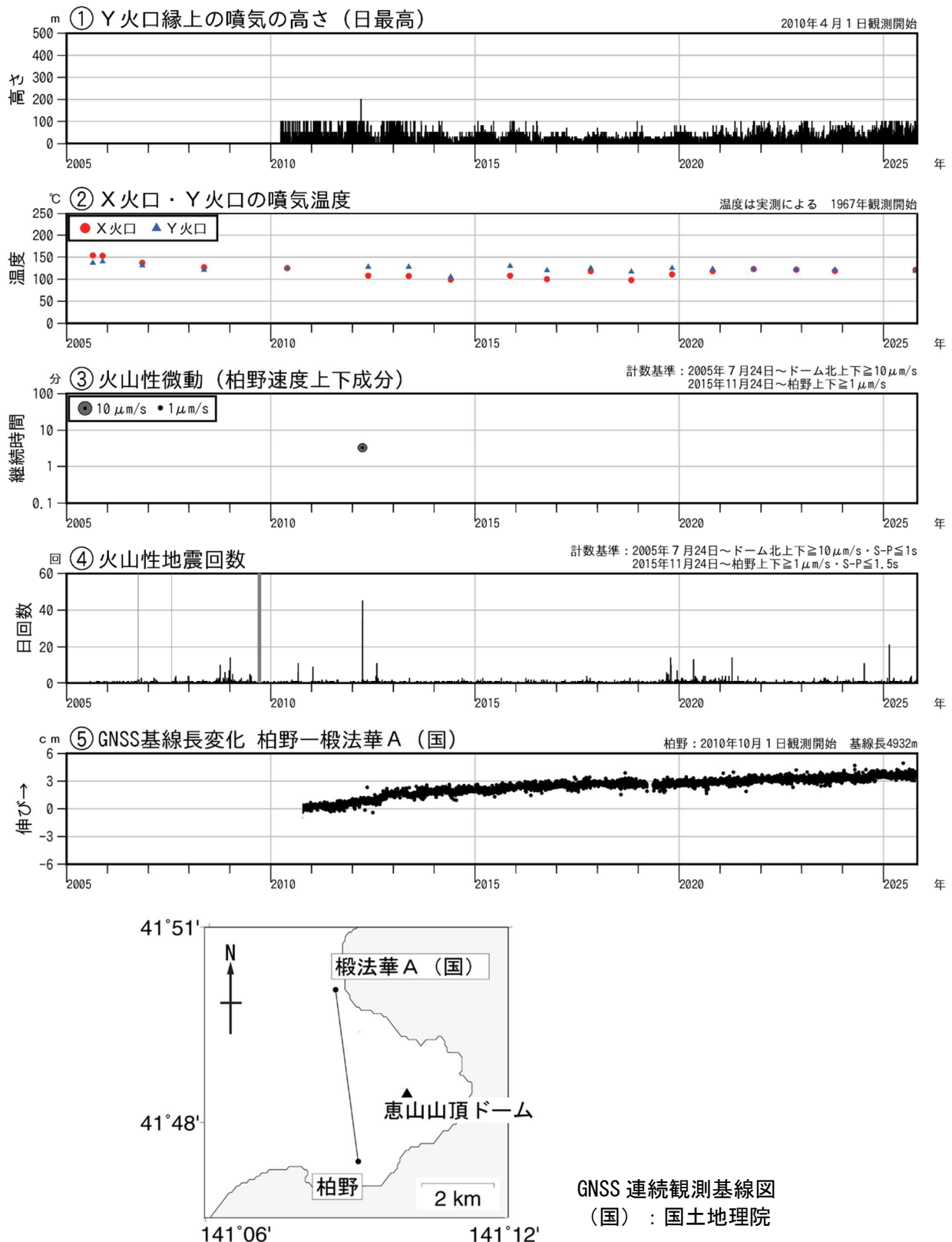


図 2 恵山 火山活動経過図（2005 年 7 月～2025 年 10 月）
④の灰色部分は機器障害による欠測期間を示します。
⑤のグラフは上図の基線に対応しています。
⑤のグラフの空白部分は欠測を示します。

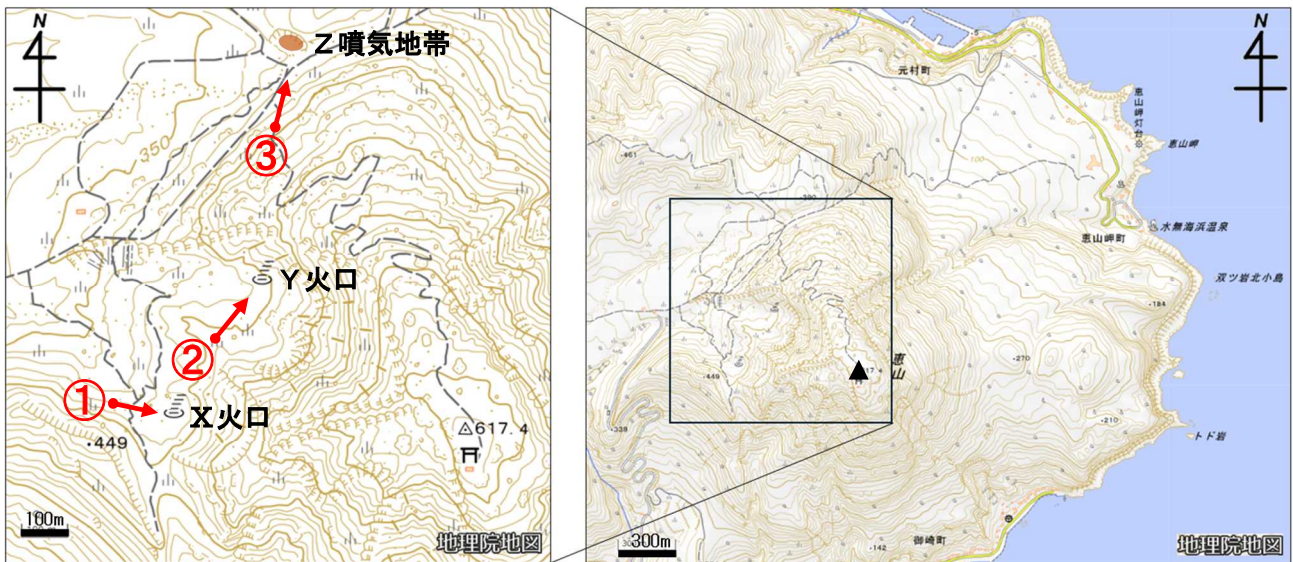


図3 恵山 火口周辺図と写真の撮影方向（矢印）

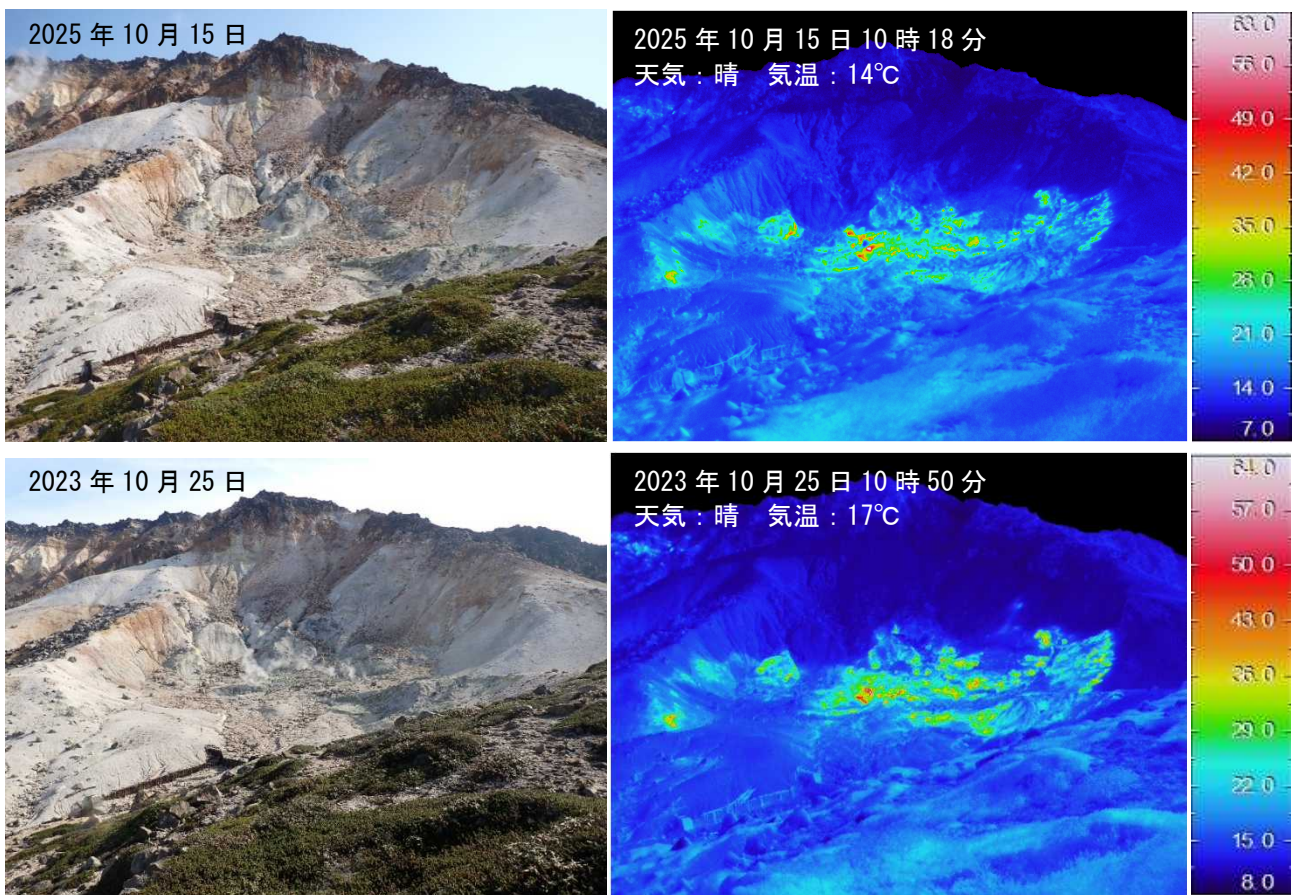


図4 恵山 赤外熱映像装置によるX火口内の地表面温度分布

西側（図3の①）から撮影

・ 前回の観測（2023年10月）と比べて、地表面温度分布に特段の変化はありませんでした。

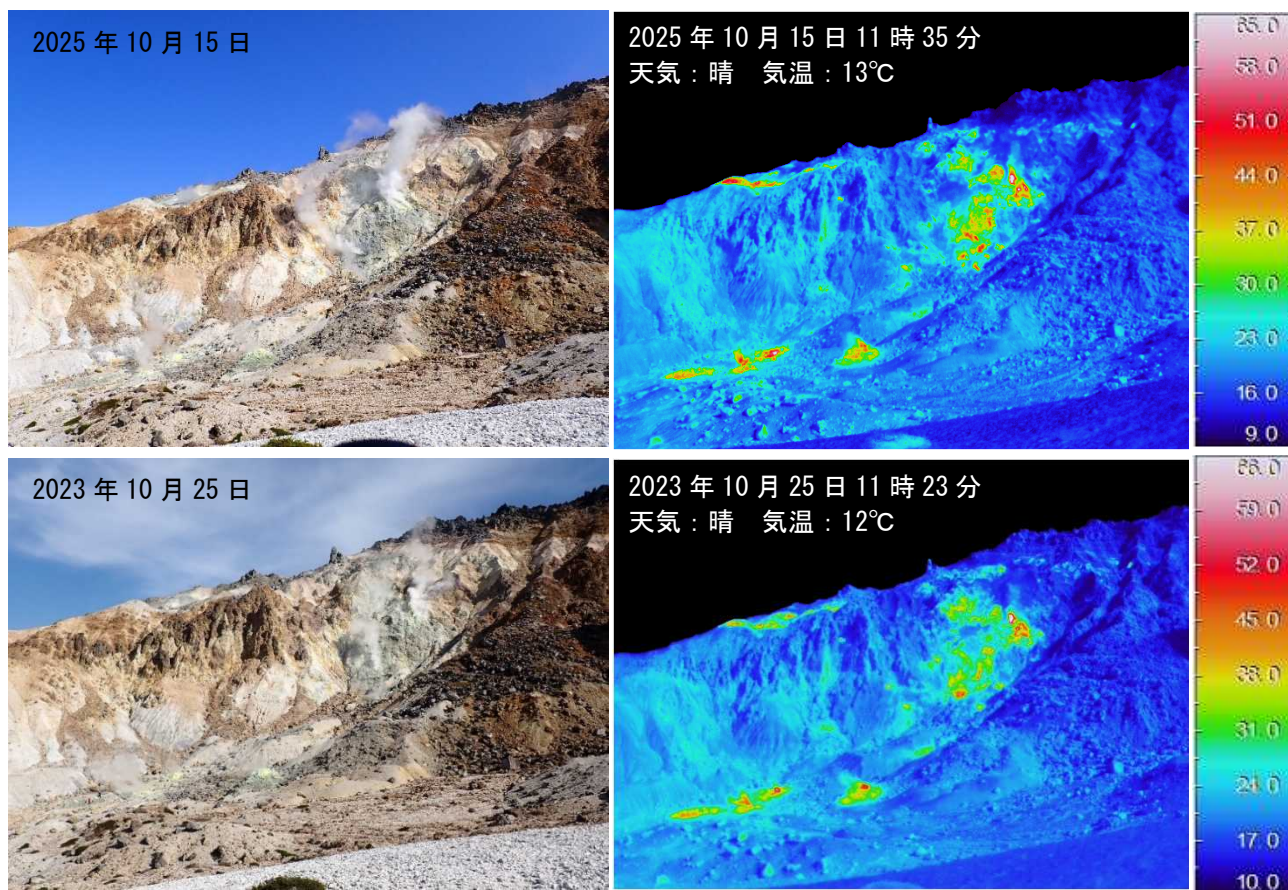


図5 恵山 赤外熱映像装置によるY火口内の地表面温度分布

南西側（図3の②）から撮影

- ・ 前回の観測（2023 年 10 月）と比べて、地表面温度分布に特段の変化はありませんでした。

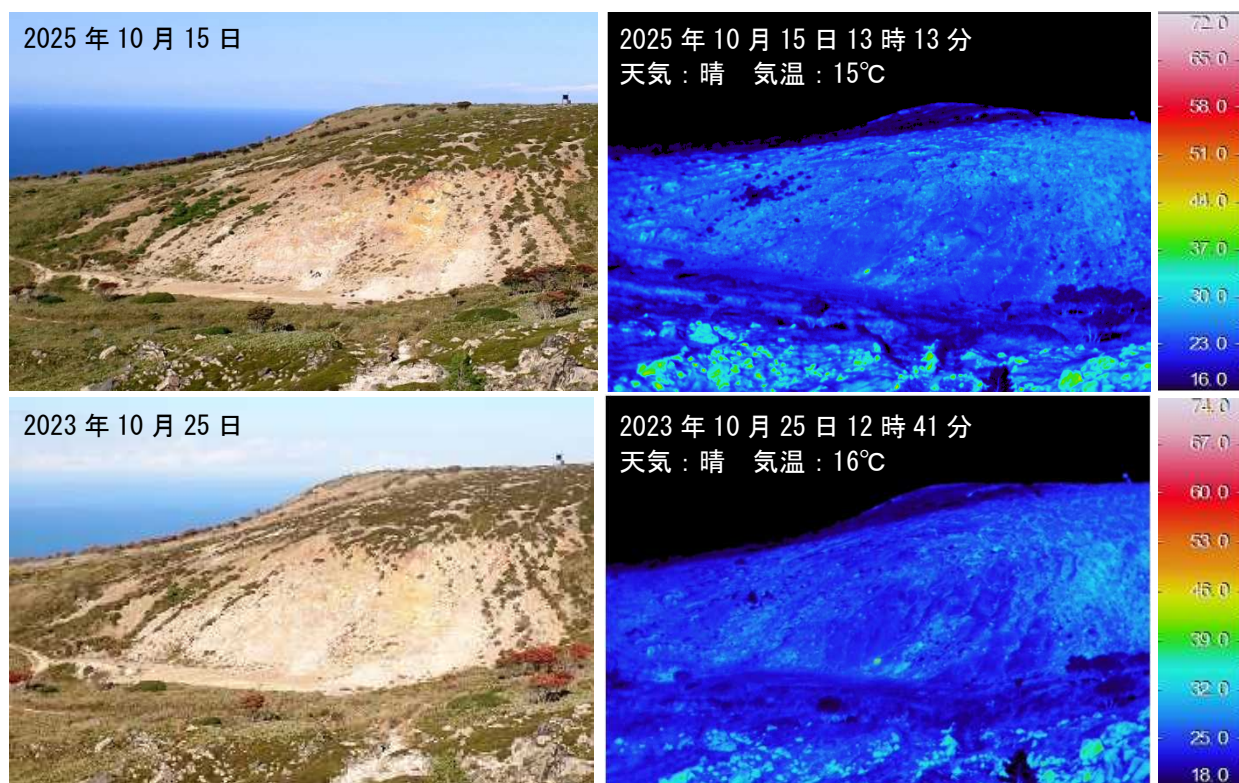


図6 恵山 赤外熱映像装置によるZ噴気地帯の地表面温度分布

南側（図3の③）から撮影

- ・ 前回の観測（2023 年 10 月）と比べて、地表面温度分布に特段の変化はありませんでした。

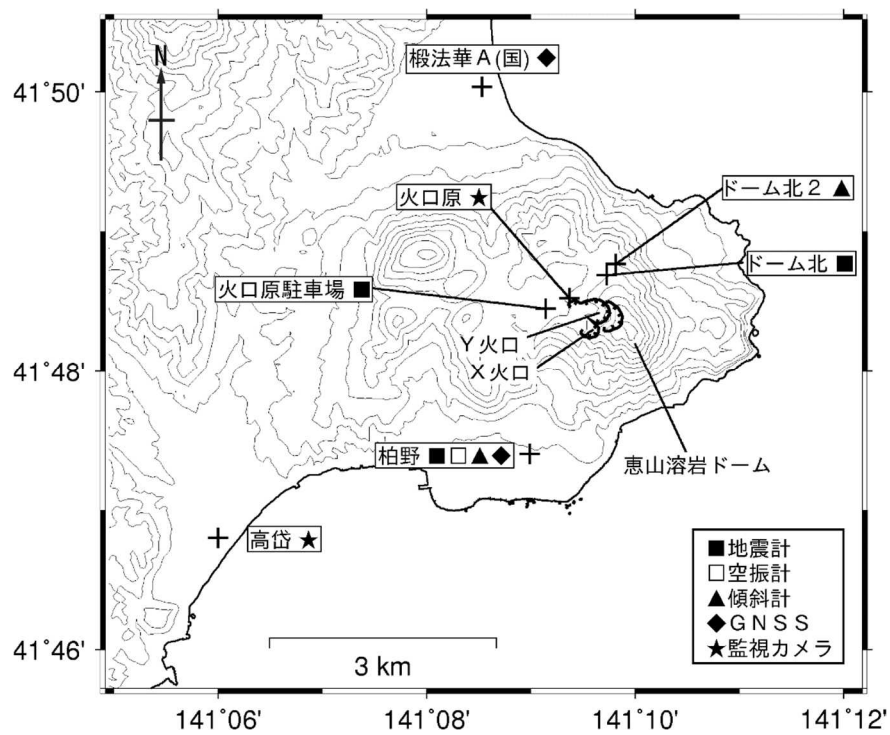


図7 恵山 観測点配置図

＋は観測点の位置を示します。

気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています。

（国）：国土地理院